

季節風

2016.2.4

No.4 1

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

◇進路について考える◇

三学期に入り、三年生はすぐに入試が始まりました。そして、二月二日(火)は、公立高校前期選抜が行われました。前期選抜は、面接が中心の試験です。この面接に備えて、毎日練習を行ってきました。緊張しながらも自分の思いを伝えようと必死で答える姿が印象に残っています。

「どうして本校の〇〇科を志望したのですか」

「もし、本校に入学したら特にどのようなことを頑張りたいですか」

「中学校生活の中で頑張ったことは何ですか」

「総合的な学習の時間ではどのような学習をしましたか」など、たくさんのご質問を聞かれます。そして、面接官を見て、はつきりと自分の思い

や決意を伝えなければなりません。面接官は、一生懸命の内容とともに読み取っていただきます。面接では、どんな人なのか、三年間の努力の様子などがそのまま表れます。つまり、**ありのままの中学校生活の様子が答え方や態度に出るのです。**

ですから、大切なのは、普段の生活です。勉強を頑張る、スポーツや芸術活動を頑張る、掃除を頑張る、挨拶を頑張る、係の仕事を頑張る...など、**普段の生活をどれだけ頑張ったか**です。一・二年生には、そのことをしっかりと考えてほしいと思います。「自分**が頑張った分しか、相手には伝わらない**」という言葉は確かに真実のようです。

雪の鹿北中

先日の積雪で鹿北中は休校となりました。また、中学校周辺は断水となり水の確保を考えなければならなくなりました。給食室で使う水は給水車で運び、何とか確保することができました。そして、給食室の先生方が大変な状況の中で調理をしてくださったおかげで、給食を食べることができました。多くの方々の必死の努力で給食ができたことにしっかりと感謝したいと思います。



前期選抜翌日の三日(水)、受験した三年生に面接について聞いてみました。「緊張しただけ、落ち着いて答えることができませんでした。」「難しい質問があつて、一瞬あせったけど、何とか答えられました。」「など、すがすがしい表情で報告してくれました。

「**受験は団体戦**」、最後の一人の進路が決まるまでみんなで頑張るとの思いで三年生は生活しています。

一・二年生にとってはまだ先のことですが、それでも今の自分たちなりの「**団体戦**」があるはずです。それをやりきることが、進路を切り開くことにつながるのです。

□小中一貫教育サミット□

一月二十九(金)、三十(土)の二日間、小中一貫教育についての研修会に参加しました。学校見学、授業参観、実践発表など有意義な二日間を過ごすことができました。学校見学では、施設一体型の学校だったの、小学生と中学生が当たり前



のように一緒に廊下を歩いていた、交流が活発に行われていました。九年間の一貫教育では、授業も行事もたくさんさんの創意工夫が可能であり、より教育効果を高めることができます。鹿北小・中学校での一貫教育も可能であると思います。